

## 刊行のことば

放送教育開発センターの教官は、それぞれに共同研究班に参加し、全国各大学と連携しながら大学共同利用機関としての役割をはたすべく努力をつづけてきた。その研究成果はつぎつぎに刊行されている。

しかし、それと同時に当センターの研究開発部は独立の研究者としての個々の教官の学問的業績の発表をつよく奨励してきた。それらのおおくは、センターの研究紀要や学会誌などを発表の場としているが、長期にわたる個人研究成果のうち博士論文の審査に合格したものの、あるいはこれに準ずるもので、執筆者本人から刊行の希望があったばあいには、それを「紀要別冊」として印刷物とすることが1990年5月8日の教官会議で研究紀要等出版委員会から提案され、了承された。いまここに刊行されるのはそのさいしょの「紀要別冊」である。

その内容についてはとくにここでのべる必要はあるまい。著者じしんのこの労作のなかにすべてがいつくされているからである。しかし、ひとりの社会学者としていうならば、この研究は、われわれがややもすれば一般化して論ずることのおおい抽象的概念としての「社会」のなかに、いかにおおくの下位集団があり、それらがいかに独自の有機体的な機能をはたしているか、を克明な事例調査によっておしえてくれる。とりわけ、多民族社会としてのハワイをフィールドとしてえらび、ふるい記録や現代の状況までをも多角的に調査した精力的な姿勢に感服する。こうした力作がこれからもぞくぞくと放送教育開発センターの教官から提出され、出版されることをかたく信じながら刊行のことばとする。

1991年1月26日

放送教育開発センター所長  
加藤 秀俊